



グループCEOメッセージ



**Anritsu Wayを実践し、
価値を創造し続けます**

濱田 宏一

代表取締役社長
グループ CEO
計測事業グループ プレジデント

アンリツは、無線通信実験が世界で最初に成功した1895年に誕生し、2019年で創業124年を迎えます。その歴史は、常に情報通信の最先端技術を追い求めるパイオニアとしての挑戦の歴史でした。通信インフラにおけるさまざまなイノベーションは、社会を劇的に変革するとともに、人類に「つながる」ことの豊かさを提供し、グローバル社会の進歩を生み出してきました。アンリツは「はかる」技術をコアコンピテンシーとし、この進歩を情報通信分野と食品・医薬品分野で支えてきました。アンリツは「誠と和と意欲」、「オリジナル&ハイレベル」という経営理念の下に、「安全・安心でつながる」社会の発展に貢献していきます。

“envision : ensure” これからのアンリツにご期待ください。

GLP 2020初年度の振り返り

計測事業は、5Gチップセットおよび端末の初期開発需要を獲得

次世代の通信方式5Gの仕様策定が3GPPで進行しています。2017年12月に5G NSA-NR、2018年6月に5G SA-NRの標準化が完了し、5Gの超高速通信に関する主要機能の全仕様が規定されました。3GPPでは引き続き、ユースケースの拡張が期待される超低遅延および多数同時接続の仕様策定を検討しており、2020年初旬に標準化完了が予定されています。その結果、各国主要キャリアの5Gの商用化に向けたロードマップが具体化し、商用化スケジュールは順調に進展しています。2018年12月に北米や韓国でモバイル

ルーターを使用した先行的な5Gサービスが開始され、2019年4月からは5Gスマートフォンのサービスも開始されました。米国、アジアの主要端末ベンダーは、5Gスマートフォンサービスで使用される端末の開発を行い、スペインのバルセロナで開催された見本市MWC2019で相次いでリリースしました。このような環境のもと、計測事業グループは、5Gの開発投資需要を獲得するためのソリューションの開発と組織体制の整備に注力し、5Gチップセットおよび端末の初期開発需要を獲得しました。

PQA事業は、市場堅調に推移、海外の販売強化に取り組む

PQA事業の分野においては、加工食品生産ラインの自動化投資が進むとともに、X線を用いた異物並びに包装に関する

中長期事業戦略の基本方針

成長ドライバーを確実にキャッチして、「利益ある持続的成長」を実現する

市場年平均 成長率 (当社推定)	ビジョン/ 成長ドライバー	中長期ガイドライン	
		売上 成長率	営業 利益率
計測 事業 3-5%	5G/IoT 社会を支えるリーディングカンパニーになる ① 5G, LTE-Advanced ② IoT/Automotive, Connectivity ③ IP Data traffic/Cloud Services	≥7%	≥20%
PQA 事業 3-5%	ワールドクラスの品質保証ソリューションパートナーになる 異物検出から品質保証市場に拡大	≥7%	≥12%
連結	—	—	≥18%
ROE	—	—	≥15%

品質保証などの需要が堅調に拡大しています。PQA事業グループは、このような状況下でX線を軸としたソリューションの競争力強化と海外の販売体制の整備拡充に取り組みました。

GLP2020初年度は計画を上回る

この結果、GLP2020初年度となる2018年度の当期業績につきましては、グループ連結で、売上高、営業利益ともに当初の計画を上回り、売上高は、920億円の目標に対し997億円、営業利益率は、7%の目標に対し11%となりました。

GLP2020達成に向けて

外部要因による事業リスクが高まる

世界経済はこれまで回復基調で推移してきましたが、今後、英国のEU離脱問題、米中貿易摩擦の激化、保護貿易主義による対立など、先行きに対する不透明感が高まっています。

2019年は5G元年、計測事業は5G開発市場でのリーディングカンパニーを目指す

GLP2020の2年目となる2019年は5G元年と言われ、世界各国でプレサービスやトライアルが開始されています。日

GLP2020：売上高・営業利益計画

		GLP2020			
指標		FY2018 (計画)	FY2018 (実績)	FY2019	FY2020
売上高		920億円	997億円	1,020億円	1,050億円
営業利益		66億円	112億円	100億円	145億円
営業利益率		7%	11%	10%	14%
当期利益		50億円	90億円	75億円	110億円
ROE		7%	11%	8%	12%
計測 事業	売上高	600億円	682億円	690億円	700億円
	営業利益	35億円	94億円	80億円	100億円
	営業利益率	6%	14%	12%	14%
PQA 事業	売上高	235億円	231億円	245億円	260億円
	営業利益	20億円	16億円	20億円	30億円
	営業利益率	9%	7%	8%	12%

(参考) GLP2020想定為替レート：1米ドル=105円、1ユーロ=125円

本では9月のラグビーワールドカップに合わせて、5Gプレサービスが開始されます。さらに、2020年3月に3GPPリリース16の標準化が完了する予定です。リリース16は、5Gの特徴である超低遅延や多数同時接続などにより、ミッションクリティカルな用途を可能にするものであり、この規格に準拠したチップセット及び端末の開発投資が2020年から開始されると想定しています。それに続いて5Gの本格的な商用化に向けた準備が加速することが見込まれます。一方、既存のLTEへの投資は抑制・縮小傾向が続くとみています。このような環境の中、計測事業グループは、世界各国の商用化計画に的確に対応したソリューションをタイムリーに提供することで、5G開発市場でのリーディングカンパニーを目指します。

PQA事業は海外市場を開拓し、ワールドクラスの品質保証ソリューションパートナーになる

PQA事業は、「ワールドクラスの品質保証ソリューションパートナーになる」というビジョンを掲げています。成長ドライバーは、「食品・医薬品市場における品質保証ニーズの拡大」です。PQA事業が高い成長率を維持し続けるためには、日本市場での競争優位を維持しつつ、海外市場でのプレゼンスを高める必要があります。当面の施策としては、X線検査機



グループCEOメッセージ

経営戦略の基本方針

- 「利益ある持続的成長」路線を徹底する
- 2020VISION/GLP2020の実現に全力で取り組む

* GLP2020 Plan= FY2018～FY2020



をキー・ソリューションとして、需要拡大が見込まれる欧米先進市場を軸に海外市場の開拓を進めるとともに、生産性向上への投資強化と業務プロセスの整備を進めます。また、その先の成長を視野に、欧州市場と医薬品市場への本格参入に取り組めます。

このような施策を展開することにより、グループ連結で2020年度には、売上高1,050億円、営業利益率14%を目指します。

Beyond 2020に向けて

5本の柱で2020年以降も安定した成長を目指す

2020年以降を見据えた持続的な成長の実現に向け、「Beyond2020」を始動させました。現在の柱は、計測事業の「5G通信」関連ビジネスとPQA事業の「食品安全」関連ビジネスです。特に、「5G通信」は将来投資が終われば業績が落ちるボラティリティの激しいモバイルビジネスに軸足を置いています。「Beyond2020」では、「5G通信」、「食品安全」の一層の強化に加え、「5G利活用 自動車」、「医薬品安全」、そして「非通信計測事業」の5つの柱でモバイル市場のボラティリティを受けにくい、そして常に売上高1,000億円を超える安定した高収益企業を目指します。

新規事業は次期GLP2023で実現へ

新規分野の「非通信計測事業」は、モバイル市場のボラティリティの影響を受けにくく、かつアンリツのコンピテンシーが生かせる分野での提携やM&Aも視野に入れ、開拓を行っていきます。昨年からこの新事業開拓を専任で行う部門が活動を開始しており、次期3か年計画であるGLP2023では具体的な内容と数値計画を発表する予定で進めています。

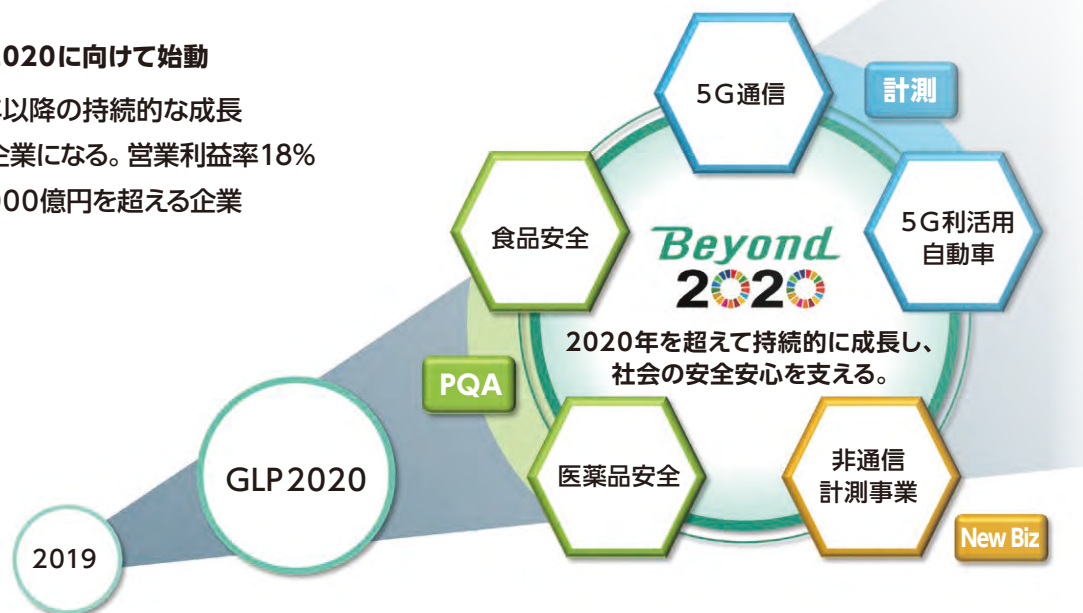
「進取の気性(きしょう)に富んだ会社」の精神

Beyond2020を始動するにあたり、社内で新たな芽を育てる風土を作っていきます。新たなことにチャレンジする人を応援し、誰もがチャレンジできる環境を整えてこそBeyond2020は実現すると考えています。

アンリツは120年以上の歴史を持った会社ですが、伝統に胡坐をかいていられる会社ではありません。常に最新の技術を取り込み、新たなことにチャレンジする「進取の気性に富んだ会社」の精神を大切に、次代のアンリツの礎を築いていきます。

Beyond 2020に向けて始動

- 2020年以降の持続的な成長
- 高収益企業になる。営業利益率18%
- 常に1,000億円を超える企業



Beyond 2020の実現を通じて社会課題を解決する

サステナビリティ経営について

SDGsの未来像と共通した「5G/IoT社会」構築に貢献するサステナビリティ経営

アンリツは、2018年4月に「サステナビリティ方針」を定め、Anritsu Wayに象徴される誠実な企業活動を通じてグローバルな社会課題の解決に貢献することで企業価値向上を目指すサステナビリティ経営を推進しています。Beyond2020も2020年以降の持続可能な成長に向けた取り組みを始めるのと同時に、これまでも取り組んできた事業を通じて2030年のSDGs(持続可能な開発目標)達成に向け貢献していくことを含んでいます。

アンリツは目指す未来「5G/IoT社会」を、あらゆるものがつながることによって、新しい付加価値が生まれる社会としてイメージしています。これは「Society 5.0」の情報通信技術の最高の進化形をイメージした経済的発展と社会課題の解決を両立させた姿、すなわち社会のサステナビリティに貢献し、快適で質の高い活力に満ちた生活を送ることができる社会を築くという未来像です。

この姿は、SDGsの未来像(我々の世界を変革する)と共通しており、SDGsを羅針盤として活用し、社会課題の解

決に貢献していくことがサステナビリティ経営であると考えています。

サステナビリティにも「進取の気性に富んだ会社」の精神で

2018年度はこれまで取り組んできたことをサステナビリティの概念に改め、社内に浸透を始めた事業年度となりました。持続可能な社会の最も重要な課題の1つである気候変動に大きな影響を与えるCO₂排出量につきましては、SBT*の認定を受けて削減に取り組むべく、認定作業の初期段階となるコミットメントを2019年3月に行いました。削減計画の詳細は検討中ですが、将来への投資と捉えて、今年度以降には再生可能エネルギーである太陽光発電の増設も行っていく予定です。また、児童労働・人身取引・強制労働などのリスクを低減するために、お取引先さまへ調査依頼や往査を行い、人権を尊重した事業活動を推進しています。

あらゆるステークホルダーとコミュニケーションを図り、「進取の気性に富んだ会社」の精神を事業に活かして引き続き、安全・安心な社会のサステナビリティに貢献していきますのでご期待ください。

*SBT: Science Based Targets: 地球の気温上昇を産業革命前の気温と比べて2℃未満(1.5℃未満に強化される方向)に維持するという科学的な知見と整合する、温室効果ガス削減目標のこと。